

Colony Tokyo

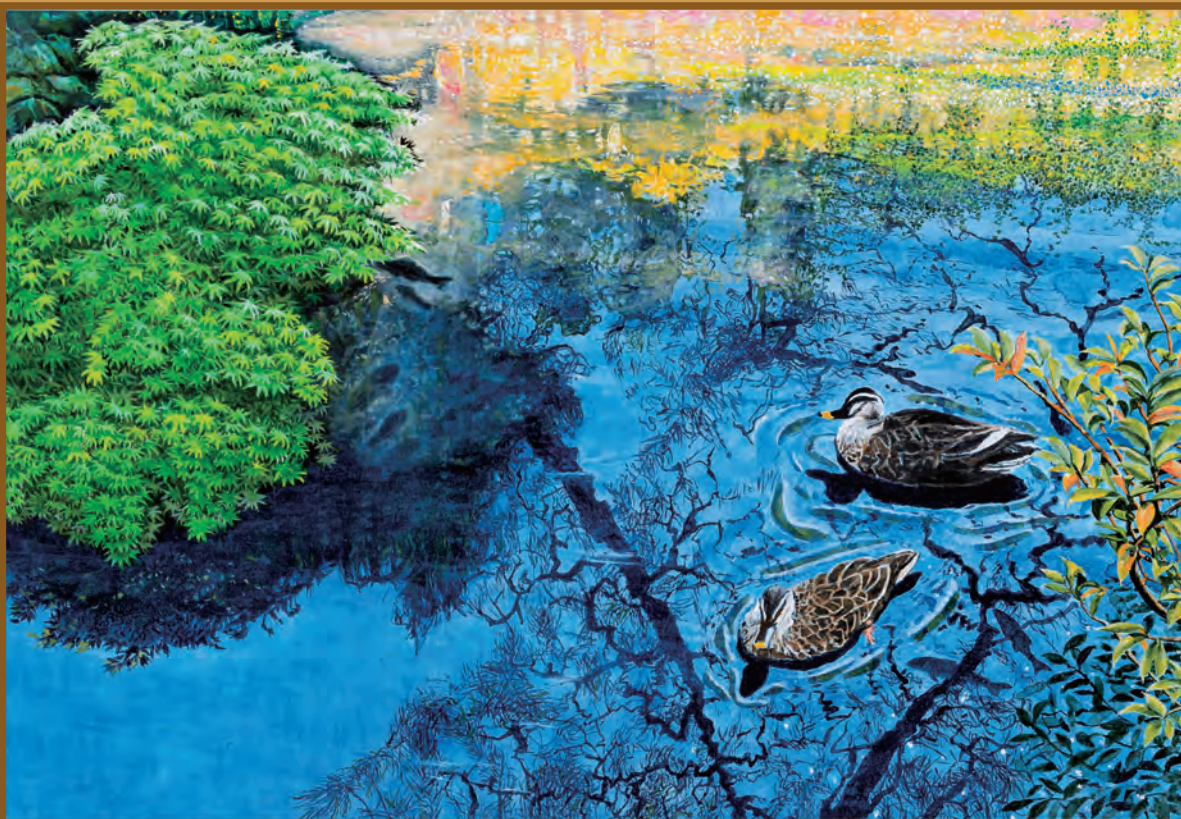
コロニーとうきょう

Vol.

176号

2024(令和6)年
1月1日発行

社会福祉法人 東京コロニー
〒165-0023
東京都中野区江原町 2-6-7
TEL 03-3952-6166
FAX 03-3952-6664
<https://www.tocolo.or.jp/>
(法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー 51 井手 俊郎さん 『カルガモ夫婦の休日』(詳しくは15頁をご覧ください。)

時評

法人の主な動きから

とびっくす

2023 年度上半期事業報告

法人本部・コロニー中野・トーコロ生活支援センター・アートビリティ(〒165-0023 中野区江原町2-6-7)・中野区仲町就労支援事業所(〒164-0011 中野区中央3-19-1)・コロニーもみやま支援センター(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・トーコロ情報処理センター 事業部・職能開発室(〒164-0001 中野区中野5-3-32)・デジタルメディアセンター(〒170-0005 豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル6F)・東京都葛飾福祉工場(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・立石工場(〒124-0012 葛飾区立石8-50-1)・コロニー東村山(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・東村山市障害者就労支援室(〒189-0014 東村山市本町1-1-1)・東京都大田福祉工場(〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロあおば就労サポートセンター(〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)・国分寺戸倉寮(〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)・東久留米第一氷川台寮・東久留米第二氷川台寮(〒203-0004 東久留米市氷川台2-31-22)・東久留米第三氷川台寮(〒203-0002 東久留米市神宝町2-14-26)・えはらハイツⅠ、Ⅱ・中野江原短期入所・中野区日中一時支援(〒165-0023 中野区江原町3-23-2)・とよたまハイム(〒176-0014 練馬区豊玉南2-3-9)・こあらハイツ(〒202-0013 西東京市中町3-10-9)・あおばハウスⅠ、Ⅱ(〒189-0002 東村山市青葉町3-2-2)

時 評

可能性を持つ仲間たち

理事長 中村 敏彦

新年 明けまして

おめでとうございます。

今年は辰年、十二支の中では唯一架空の生き物で、水や海の神として祀られてきた龍は、大自然の躍動を象徴し、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。コロナ禍も落ち着き、何か良いことが起こる予感がします。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

はじめに

さて、当法人には障害のある仲間たちが、身近な存在としてたくさんいらっしやいます。そもそも、障害がある人とはいったい誰のことを指すのでしょうか。医学モデルの定義による障害のある人、あるいは、社会

で生きづらさを感じている人、無理解や偏見によって差別されている人などを一般的に指しているようですが、国籍、人種、性別、年齢などの違いはあるものの、同じ人として存在しているのです。そう考えると障害はその人個人にあるのではなく、社会にあることを改めて知らされます。まさに「社会モデル」であり、自身が生きている社会の仕組みが、誰かにとって生きづらいものになっているとしたら……、その事を自分自身がどう考えるか、という視点がとても大切だと思います。

当法人は、1951（昭和26）年に創設され73年目を迎えます。法人内には、創設当時を知る者はいなくなってしまうしました。当時の結核回復者たちは、生き抜くだけでも大変な時代であった。と簡単に書くことさえ悩ましいほど過酷で、障害があるとか、ないとか、そんなことには構っていられたかったのではないでしょう。

障害者福祉は戦後に発展し、障害のある人に関する様々な法律や施策が作られてきました。しかし、偏見と差別は相変わらず存在しています。法律は国民が守ることを前提に、障害のある人を保護し、特別な生活環

境、特別な教育、就労の場を提供し得る環境づくりに重要な役割を担ってきました。一方、障害者権利委員会の総括所見では、就労継続支援B型事業などを、職業リハビリテーションと保護という名目で、一般社会とは隔離されたシェルトード・ワークシヨップと位置づけ、分離された雇用を段階的に排除すべき、と否定的に捉えています。

可能性を持つ仲間たち

一概に障害があるといっても、障害種別によってその可能性には違いがあります。もちろん、一人ひとりに視点を充てることが重要です。

身体障害のある方たちの働く環境は、社会的偏見などは少なくなり、コミュニケーションの配慮や、物理的環境を整えることで、企業等で活躍する機会が増えています。近年では、医療的ケアを伴う重度身体障害のある方たちにも、在宅雇用・就労などの環境により、働く機会が拡大しています。

知的障害のある方たちの就労機会も、障害理解が進んだことや特例子会社などのグループで働く環境が整ったことなどにより、徐々に発展してきています。一方、強度行動障害

のある方は、自傷行為や周囲の人への問題行動等によって、特別な支援が必要と思われる、あまり進んでいないのが特徴です。精神障害の方も出勤状況が安定しない等の理由であまり進んでいません。障害者雇用率は伸びているけれど、知的障害者や精神障害者の割合は低く、とりわけ、重度障害者が敬遠される傾向にあるといっています。

可能性があると信じることで、これまでとは違うアプローチにつながるということが重要だと思います。

ひとつの好事例

最近のニュースで「ニューロダイバーシティ」が広がっているという興味深い報道がありました。脳や神経を表す「ニューロ」と、多様性を表す「ダイバーシティ」を組み合わせた言葉で、発達障害の人達などの特性を、能力の欠如ではなく「多様性」と捉えて、広く活躍できる社会を目指す考え方とありました。少子・高齢化が深刻化する日本で、多様な人材が活躍することは極めて重要な意味を持ち、IT業界などでこの考えが広がり始めているといえます。発達障害という障害は、脳の働き方の違いによって、行動や情緒面に影響

が出る状態であり、例えば、自閉スペクトラム症は、コミュニケーションがうまく取れない、対人関係をうまく築けない、あるいは興味や関心が極端に偏るなどの特性があると考えられています。また、集中出来ない、じっとしてられないなどのADHD、読む・書く・計算するなど一部の能力が極端に苦手なLDなども含まれます。こうした人は診断されているだけでも約140万人に上るといふ推計もあり、診断されていない人も含めれば、さらに多いといえます。一方で、自閉スペクトラム症の場合、注意力や集中力が高く、情報処理にも長けていて、仕事で高い技術や精度を発揮する人がいることや、ADHDは変化に対応する能力が高く、刺激的な仕事に高い集中力を発揮すること、LDは物事を多角的に考えられ、発明や独創的な思考ができるなどの強みが、先行研究で示唆されているとありました。「ニューロダイバーシティ」の考え方は、そうした強みを持つ人を、積極的に戦力にしようという動きです。

台無し

相手のことを思いやれない行動として虐待やハラスメントに至ってし

まうという事象があります。

起こってしまったら、可能性を台無しにするばかりか、人を対象とした事業運営をしている法人の致命傷にもなりかねない問題です。一般的な調査報告を調べてみました。

昨年9月、厚生労働省の「令和4年度使用者による障害者虐待の状況等」の報告によると、

『通報・届出のあった事業所数は前年度と同数の1230事業所。通報・届出の対象となった障害者数は前年度と比べ0.1%増加して1433人。虐待が認められた事業所数は、前年度と比べ9.7%増加し、430事業所。虐待を認めた障害者数は、前年度と比べ30・7%も増加し、656人。認められた虐待の種別では、経済的虐待が600人（87・3%）で最多』とありました。

虐待は家庭、施設、職場などさまざまな場所、そして人間関係の中で起こり得ます。虐待をしている人も、誰にも相談できず、無意識に気が付いたら虐待していたという場合もあります。また、障害者が暮らす家庭でも、家族・親族・同居人などの養護者による虐待が行われている場合もあります。障害者に限らず、様々な虐待報道は後を絶ちません。

障害者虐待は、障害の特性についての知識不足で適切な対応ができなかったり、制度を補うための支援者の過労によるストレスなど、養護者にかかる重い負担が、ひとつの要因とも考えられます。

令和3年3月、厚生労働省委託事業の「職場のハラスメントに関する実態調査」の報告によると、

『過去3年間のハラスメント相談件数／該当件数の傾向としては、パワハラ、顧客等からの著しい迷惑行為、妊娠・出産・育児休業等ハラスメント、介護休業等ハラスメント、就活等セクハラでは「件数は変わらない」の割合が最も高く、セクハラのみ「減少している」の割合が最も高かった。顧客等からの著しい迷惑行為のみ、「件数が増加している」の割合の方が「減少している」より高かった。ハラスメント等に関して実施している雇用管理上の措置としては、「ハラスメントの内容、ハラスメントを行ってはならない旨の方針の明確化と周知・啓発」および「相談窓口の設置と周知」の割合が、いずれも約8割、「相談窓口担当者」が相談内容や状況に応じて適切に対応できるようにするための「対応」の割合が約4割という結果となった。ハラスメントの予防・解決

の取組みによって、「職場のコミュニケーションが活性化／風通しが良くなる」（35・9%）の割合が最も高く、次いで「管理職の意識の変化によって職場環境が変わる」（32・4%）が高かった。ハラスメント予防・解決のための取組を進める上での課題については、「ハラスメントかどうかの判断が難しい」の回答率が最も高かった。』とありました。

例外ではない

人がいる環境では、虐待もハラスメントもいつ起こっても不思議ではありません。当法人は、虐待・ハラスメントのいずれも、予防・解決の取組を実施していますが、起こる可能性は例外ではありません。

日頃から、時間を共有する一人ひとりが、相手の立場に立ち、自分だったらどうなのか、どのようなアドバイスや指導、注意を望むのか、常に考えて行動することが重要です。一人ひとりの可能性を引き出す機会を、より多く作っていくためにも、関わっている一人ひとりが、常に自分の言動を問い、経営や事業継続に何ができるか、そして、社会や仲間のために何ができるか、こんなことを考える1年にしたいと思います。

法人の主な動きから

韓国からの視察団を迎えて

2023年9月20日、韓国の保健福祉省（日本の厚労省に該当）傘下の研究機関である韓国障害者開発院の政策研究開発チームの調査員の方々が、日本障害者リハビリテーション協会を通じて、日本の障害者優先調達推進法の調査のため東京都大田福祉工場（以下、大田工場）を視察されました。

大田工場からは石垣副所長、武内生産活動統括部長、犬塚障害福祉サービス統括次長をはじめ6名の職員が出席し、日韓両国の障害者の就労状況や支援制度について勉強会を行い、大田工場の印刷工程や就労支援課の作業の様子を紹介し、交流を深めました。

勉強会では、障害者優先調達推進法が施行されてからの大田工場の調達方針や実績、取り組み事例や課題などについて、詳しく説明を行いました。



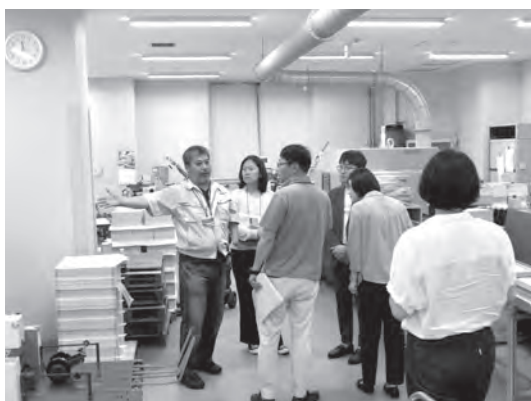
会議の様子（難聴のある参加者がいるためヒアリンググループを使用）

した。視察団の方々からは、同法の仕組みや効果、大田工場の運営や管理について様々な質問が飛び交い、和気あいあいとした雰囲気の中、お互い多くの参考になる点を共有できる有意義な時間になりました。

見学では、大田工場の制作・印刷・製本部門、就労支援課の作業の様子を紹介しました。特に支援作業室では、利用者さんが封入封緘作業を行っている様子を見学しました。利用者

の方々が自分の能力に合わせて作業を選択できるように、個別の作業計画や指導を行い、また、作業の成果や評価をフィードバックし、自信ややりがいを高める工夫を紹介しました。調査員の方からは、韓国福祉事業のお手本になった、韓国の障害者調達制度の発展に参考にできる点が多くあったとお言葉を頂きました。

就労支援は障害者の方々が社会に参加し、経済的自立を目指すための



印刷・製本工程の見学の様子

重要な取り組みです。障害者優先調達推進法は、その一つの手段として、就労機会の拡大や収入の向上に貢献しています。しかし、まだまだ認知度や利用率の向上が課題となっています。就労支援施設が提供する物品やサービスは、高品質で多様なものがあります。日韓両国のこうした交流を通じて、情報や経験を共有しお互いが発展することで、より良い福祉サービスの提供に繋がるよう取り組んでいきたいと思っています。韓国障害者開発院の皆さまの研究の一助になれば幸いです。

東京都大田福祉工場
人事総務課 課長 村越慶樹



就労支援課 作業室の見学の様子

障害者福祉事業でSDGsの一翼を

皆さんは、SDGs（エスディジーズ）に取り組んでいますか？

SDGsは2030年を達成目標にした持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、TVやインターネット、街中でも目にしない日はないと思います。自治体、企業、大学、商店街等々、取組の主体は様々です。東京コロニーでも法人事業そのものがSDGsの一翼を担っているといえますが、SDGsの17のゴールに当てはめてみた場合、いくつかの項目に該当します。例えば

- ・ 障害者の雇用や就労を実現するために、職場の提供、仕事の確保、住まいの提供、移動等の支援を実施しています。賃金・工賃の向上に努力し、所得の充実を目指しています。
- ・ IT関連事業をつうじて、東京都障害者IT地域支援センターにてIT関連の支援機器等の情報提供・相談を実施しています。また、重度障害のためIT技術等の一般教育が受けられない人に、インターネットを活用したIT技術者在宅養成講座を実施しています。

（それぞれSDGsゴール1、3、4、8、10等に該当）



などです。詳細は当法人のホームページに掲載してありますのでご覧ください。

このたび、SDGsをより積極的に取り組むための意思表示として、法人本部が所在する中野区の「なかのSDGsパートナー」に登録申請することとなりました。登録することにより、中野区行政や区内企業、団体、学校等のパートナーと関係性が強化され、私たちの障害者福祉事業への理解や中野区の障害者やその家族等の暮らしやすさが広がっていくものと期待されます。

そのほか、東京コロニーは「法政大学SDGsパートナーズ」にも協賛しており、大学に關係する企業や団体とも関係づくりを始めております。

2030年が達成目標となっており、残された時間は多くはありませんが、目標年まで意識して取り組んでいきたいと思っています。

法人本部 事務局長 星 忍

第35回アートビリティ大賞式典 〜久々の対面での開催

2023年12月1日（金）、TKP新宿カンファレンスセンター4階ホールにて「第35回アートビリティ大賞式典」が開催されました。大賞を受賞されたMeriさんをはじめ、各賞受賞作家やユーザーの皆様など約40名の方々にご列席いただき、35回目の節目にふさわしい式典となりました。

コロナ禍により、2020年からオンラインでの開催が続いていましたが、今年は4年ぶりの対面での開催となりました。受賞作家や、そのご家族の嬉しさに満ち溢れた表情や、受賞式にて作家のスピーチをお聞きになっている協力協賛企業のご担当者様の表情、また式典後の歓談タイムで、作家と企業様の交流の様子を拝見しますと、やはり対面というのは、様々な発見や学びにつながる場なのではないかと感じました。

昨今、働き方が従来から大きく変わり、効率化が叫ばれるようになってきました。アートビリティ事務局でも、登録作家やユーザー様と対面する機会があまりありません。事務局員2年目のわたくしも、登録作家の方々

と対面でお話したことは、数える程しかありません。それが悪いことは申しませんが、直接お会いすると、作品から想像していたお人柄とのギャップを感じられ、また、作品制作時の秘話なども直接伺いできて、自身もユーザー様に作品や作家をご提案する際の学びへとつながりました。できることなら、このまま対面での式典が続けばよいと願ってやみません。

数少ない作家との交流の機会を大切に、アートビリティ事務局員としても、今回の式典を機会に、より一層研鑽に務めていきたいと思っています。

アートビリティ事務局 佐野友香



トピックス

コロニー中野

旅行に行ってきました

11月18日(土)に旅行に行ってきました。コースを2つ用意し、午前出発の津久井湖方面、午後出発の羽田沖チャータークルーズを予定していました。当日は秋晴れのきれいな空が広がっていましたが、低気圧の影響で西日本をはじめ各地で荒天だったようです。実際、その影響で羽田沖チャータークルーズが天候の見込みが悪く前日にキャンセルとなったので、目的地を海ほたるパークキングエリアに変更したのですが、当日は、アクアラインも通行止めになり、最終的に葛西臨海公園に目的地を変更しました。



津久井湖城山公園

ができませんでしたので、なかなか、予定通りにはいきませんが、出発してしまえばトラブルやハプニングもなく順調で、残念ながら津久井湖ではクマと出会うこともありませんでした。

津久井湖畔にある津久井湖城山公園はとても大きく、城山ダムを挟む形で広がっています。普段、ダムを間近で見ることがないので、その姿に圧倒された人もいると思います。

公園内では班に分かれて昼食や散策などをしました。暑い日が長く続いたこともあり、思っていたほど紅葉は進んでいませんでしたが、晴れた空と澄んだ空気に大いにリフレッシュできました。

一方の、葛西臨海公園でも水族園や砂浜など、園内を班に分かれて行動しました。土曜日ということもあり、多くの家族連れが来園し、路上では大道芸が行われるなどこちらもたいへん賑わっていました。班によっては、公園内を1周する周遊バスに乗り、肌寒い中でしたが、バスから東京湾に浮かぶ多くの船舶を眺めることもできました。

直前の予定の変更など、様々なことがありましたが、お天気も良く無事に旅行を終えることができたことはよかったと思います。ご協力いた

いただきました皆様、ありがとうございました。

支援課 吉田昌信



葛西臨海公園

中野区仲町就労支援事業所

新入従業員2名より

中野区仲町就労支援事業所では、2023年10月に新たに2名の従業員を迎えました。今回はお二人に自己紹介をしていただきます。

*

10月10日よりこちらにお世話になり、早1か月が経ちました。障害者施設でお仕事をさせていただくのは

初めてなので、職員の方は勿論ですが、利用者の方にもいろいろと教えていただき、助けていただいている毎日です。

先日は日帰り訓練にも参加させていただきました。行先は飯能にあるムーミンバレーパーク。天気予報はあいにくの雨。着いて間もなくポツポツと降り始めましたが、お昼のビュッフェを楽しんでいる間に雨も止み、短い時間ではありましたが、ショーやアトラクション、お買い物と皆さんと一緒に楽しませていただきました。



まだ不慣れなため、これからご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、少しでもお役に立つことができればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

支援課 鈴木康代

*

10月から中野区仲町就労支援事業

所に入職しました、井上海裕です。出身地は東京都、趣味は身体を動かすことで、特に長年携わっている柔道を地元の道場で稽古し心身共に鍛えています。

私は今、車で新宿にクリーニングの集配に行っていますが、車の運転をすることが少なかったため、人も車も多い新宿でドキドキしながら集配をしています。最初は不安でしたが、事業所の皆さんに支えていただき、今では問題なく集配をしています。

今後の目標として中野区仲町就労支援事業所の皆さんと一緒に、楽し



軽作業もやっています

く笑顔で作業をし、誰でもどんなことでも相談をすることが出来る職員になれるように頑張つてまいります。よろしく願っています。

支援課 井上海裕

コロニーもみじやま 支援センター

キャッシュレス決済・ レジデジタル化

コロニーもみじやま支援センターには、自主生産品の組みひも製品や水耕栽培野菜、コーヒー等を販売する自主店舗の「十五や」があります。

このたび、お客様のニーズに 대응べく、十五やのキャッシュレス決済体制・レジのデジタル化をようやく完了できました！

2021年12月に、決済端末とiPadについて費用ゼロでの貸与を受け、意気揚々とキャッシュレス決済を始めたのはよかったものの、レシートプリンターなどの周辺機器が完備できていなかったことから、いろいろと問題が生じ、最初はてんやわんやでした。

もちろん、最初からすべての必要機器を購入してしまえばよかったのですが…。それなりの費用がかかり、



需要が分からない状態での購入を決定できず、とにもかくにも開始したという状況でした。

その後、徐々にキャッシュレス決済の利用者が増え始め、売り上げ全体に占めるキャッシュレス決済の割合は、2022年度上半期時点で12.1%となりました。今後もキャッシュレス決済の需要は増え続けると予想されたことから、周辺機器完備のため、2022年度の赤い羽根共同募金地域配分（B配分）を申請しました。申請が通り、配分を受けたことで、2023年7月、ようやくレシートプリンター、バーコードリーダー、キャッシュドローアという周

辺機器を完備することができました。

これにより、何がどれだけ売れているかを正確にデータで把握することができるようになっただけでなく、タッチパネルで商品を登録する形式になったことで、価格の打ち間違いが少なくなりました。今後は、すべての商品にバーコードを設定することで、タッチパネルが難しい利用者さんにもレジ業務に携わってもらえるのではないかと期待しています。初めて使うバーコードリーダーが楽しいという利用者さんもいて、嬉しそうに「ピッ」「ピッ」と読み込んでいます。

今後は、区役所販売などの外部販売でもキャッシュレス決済・レジのデジタル化を実現する方策を検討していく、時代のニーズへの対応と、売上管理の省力化などにつなげていければと思います。

就労支援1課 石塚勇伍

コロニー東村山

今年の日帰り旅行は

横浜・八景島シーパラダイス！

11月10日（金）に皆さん楽しみにしていた年に一度の日帰り旅行に行

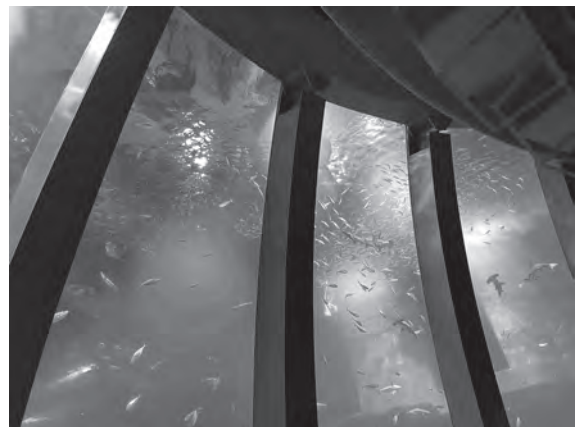
行ってきました。

今年の行き先は横浜・八景島シーパラダイス（以下シーパラダイス）です。通常の就業日より早い集合時間でしたが、当日欠席もなく参加予定者全員が観光バス3台（うちリフト付きが2台）に乗り込んで、出発することができました。

途中海老名SAでトイレ休憩に立ち寄った後、予定より若干遅れましたが、無事シーパラダイスに到着しました。到着後チケット売場前の広場にて、アクアミュージアムをバスにバス号車毎に記念写真を撮影した後、アクアリゾートパスと食事を使用できるミールクーポンを手に、各班での自由行動開始となりました。

今回の日帰り旅行では、シーパラダイス内の行動を食事も含めての班行動としました。事前に各班ごとに集まって、『海と動物のショー』を見る？」「食事はどのお店にする？」「どの水槽が見たい？」「アトラクションも行けるかな？」等、行動プランを決めてもらっていましたが、到着時間が遅れたことにより、事前に予定していたプラン通りにならなかった班もあったと思います。

この原稿を書いている私自身、シーパラダイスに行くのは初めてだったので、とても楽しかったです。クラ



ゲとサメの水槽の所でかなり長居してしまいました。

残念ながら気象予報通りに雨が降ってしまいましたが、シーパラダイスでの滞在時間は各班で楽しく過ごせたと思います。

帰りの道中、トイレ休憩で立ち寄った海老名SAでは、トイレはもちろんのこと、軽食を食べたり、名物のメロンパンの行列に並んだり、お土産を買ったりと、皆さん時間を有効に使って過ごされていました。

コロニー帰着は予定時刻より30分位遅れましたが、大きなトラブルもなく帰ってきました。バス長・班長・参加された皆さんお疲れ様でした。



来年の日帰り旅行も楽しい企画を考えます。今年参加できなかった方も、来年は是非とも参加いただければ幸いです。

旅行委員会 石川広明

トーコロ青葉ワークセンター

日帰り旅行

大型バス3台に参加者を分け、埼玉県高市にある豚のテーマパークサイボクに行ってきました。当日2023年11月10日（金）は、天気



予報に雨マークが出され、朝から小雨が降り、天候が心配されるなかでの出発でした。

旅行委員会として、今回10時から14時と短時間旅行でも楽しめる企画構成に焦点を当てました。楽しみどころとしては、美味しい昼食をとり、サイボク屋外を散策しながら買い物をするというものでした。

幸いなことに昼食後から小雨がやみました。天候が回復したことで旅行の盛り上がりの助けとなり、「小雨がやんだ今なら散策や買い物、委員



会で企画したサイボク内にある（顔はめ）パネル巡りなども楽しんでもらえるだろう。」と安心しました。また、お土産として配った豚パンや旅行欠席者に配ったサイボク豚タオルは、皆さんから好評との声をいただいています。

旅行のあちこちで、参加者皆さんの楽しんでいる様子が見られ、無事に旅行が終了でき、いつもの作業時間とは違った素敵な時間となったのではないのでしょうか。旅行を企画する際、トーコロ青葉では100名を超える趣味嗜好が異なる参加者に合わせた内容が必要です。これから、旅行後のアンケートを基に来年度の企画に繋げていきたいと思います。

事業課三係 杉原洋平

職能開発室

在宅パソコン講習事業 40年を超えて

およそ40年前の1982年、東京コロニーの事業として「東京都重度障害者プログラマ養成事業」が発足しました。重度身体障害者の新たな職域としてプログラマを養成し、在宅就労による自立を目的とする、我

が国初の試みです。当時はインターネットもパソコン通信もない時代。講習生は通所し、オフコンなどでIT技術を磨きました。

その後、1989年にはパソコン通信による在宅講習に切り替え、事業名も「東京都重度身体障害者在宅パソコン講習事業」となりました（現在はインターネットを利用）。完全在宅でIT技術やビジネスマナーを学べる本講習では、これまでに150名以上の修了生を輩出。そのうち8割は在宅雇用やフリーランスとして活躍中です。

本講習はeラーニング形式であり、受講生は毎日の学習成果を学習システムに投稿し、講師とやりとりするのが日課です。課題や周知事項などここに掲示され、受講には欠かせないものとなっています。しかし、稼働から十数年が経過し、脆弱性や機能面の不備が見られるようになって



ため、このたび新しい学習システムを開発いたしました。セキュリティやパフォーマンスを向上させた他、内部で開発しているので運用保守も低コストです。また、



講習生の中には、生活介護事業所など自宅外で学習する方もあり、スマートフォンやタブレットでも利用しやすいよう改善しました。

本講習の周知活動についても新たな可能性を模索しています。これまででは、東京都広報を見た方、特別支援学校や就労支援センターなどで紹介してもらった方の受講が多数でしたが、新たな切り口として、各区市町村発行の障害者福祉冊子への掲載依頼、ハローワーク訪問、大学への問合せなどを実施しています。今回の訪問の折、一部のハローワークで

は、「コロニーさんには以前お世話になりました」と快く対応いただきました。これまで東京コロニーに関わってきた諸先輩方の活動の賜物であると感じました。

次年度には42期生を迎えます。講習生の多様なニーズ、IT技術や福祉制度など時代の変化に対応し、本事業を50年、60年と継続していく所存です。

講習係 係長 受川隆之

東京都葛飾福祉工場

4年ぶりの研修旅行

当事業所では、各職場から選出された従業員で構成される「交友会」を組織し、毎年「暑気払い」「研修旅行」「忘年会」等の行事を開催しておりますが、今年度は、私が幹事役と



して交友会を補助する役割を務めることになりました。

新型コロナウイルス

イルス感染予防のため、この4年間は、全ての

行事の開催をやむなく中止しており、今年度もすでに「かつしかフェスタ」と「暑気払い」は、開催中止となりましたが、「研修旅行は開催できるので

はないか」との声が多く寄せられ、10月27日（金）東京ディズニーランドへの研修旅行を4年ぶりの交友会

等の行事として実施しました。ただし、コロナ禍は沈静化しているように見受けられても、実際は依然として感染者数は減少していないとの報道もあるので、交友会として感染予防対策にはかなりの神経を使いま

した。

密を避けるため、「金町工場と立石工場の参加者が別れて集合しバス移動する」「バス乗車前の検温や手指消毒を行う」「移動中や旅行中、昼食中の会話を制限する」等について皆さんにご協力いただきました。

参加された皆さんが、コロナ禍以前の研修旅行のように楽しんでいただけたかわかりませんが、心配して



いた旅行終了後のコロナ感染者も発生することなく、幹事役として安堵しております。

12月1日（金）は、4年ぶりとなる忘年会を開催します。（こ

れをお読みいただいている時には、もう終了しているものと思います。）

従業員が一堂に会するのは本当に久しぶりで、コロナ感染予防対策のための制約も多くなるかと思いますが、皆さんにはぜひ4年分楽しんでいただきたいと思っています。

生産事業部 営業2課長 杉浦聡弥

東京都大田福祉工場

自主製品で表現する喜びを！

大田福祉工場では、利用者さんのイラストや切り絵でオリジナルステッカーを作るなど、自主製品の取り組みを始めました。

折り紙がとっても上手な人、絵を描くのが小さなころから大好きな人、日常の風景を切り絵

にしてプレゼントし人付き合いを大切にしている人、それぞれとても魅力的です！いい強みだと思います。

しかし、工場での集団生活では注意を受けることが多いという一面もあります。そんな時、利用者さんにとって工場で過ごす時間は、やりがいや楽しみな時間になっているのかな？

という思いが湧いてきます。

工場のある大田区には「大田区生産活動支援施設連絡会（おおむすび連絡会）」という、大田区内の障害者施設で構成されていて共同受注・共同販売の実施や促進を行っている会があります。おおむすび連絡会では、定期的に自主製品の販売会を行って、大田福祉工場でも以前は販売していましたが、ここ数年は販売していませんでした。

もったいない！こんなに身近に作品を見てもらえる場があるのに！

大田福祉工場では、利用者さんのイラストや切り絵でオリジナルステッカーを作るなど、自主製品の取り組みを始めました。

折り紙がとっても上手な人、絵を描くのが小さなころから大好きな人、日常の風景を切り絵

にしてプレゼントし人付き合いを大切にしている人、それぞれとても魅力的です！いい強みだと思います。

しかし、工場での集団生活では注意を受けることが多いという一面もあります。そんな時、利用者さんにとって工場で過ごす時間は、やりがいや楽しみな時間になっているのかな？

という思いが湧いてきます。



いつも見せてくれている利用者さんのあのイラストを、あの切り絵を、何とか製品にすることができないか・・・、工場の仕事の合間にできて・・・、お客さんが手に取りやすいもので・・・と考えて生まれたものが、ステッカーでした。

現在は販促物として見学に来た方や利用者さんご家族などに配らせて頂いています。また、印刷工場の強みで製本部門にもご協力いただき、ステッカーを貼ったメモ帳やノートも完成しました。

現在携わっている利用者さんは一部の方ですが、今後はゆっくり通っている方や欠勤や早退の多い方にも声を掛け広めて、利用率の安定にも繋がればと考えています。

ゆくゆくは販売会に出品できるように、楽しみつつも目的をもって制作活動に取り組めるよう支援していきたいと思います。

就労支援課 村山江美子

福祉事業本部

「えはらハイツⅢ」の廃止

グループホーム「中野第二江原寮」のユニットである「えはらハイツⅢ」(女

性、定員2名)は、2012年から中野区江原町の民間のマンションの一室で運営してきましたが、今年、入居者お二人が他のグループホームに移った後、10月31日をもってユニットを廃止しました。二部屋の間に小さなキッチンがあり、夜間配置はありませんでしたが、朝夕に世話人が家事援助をし、入居者の相談を受ける形でした。

法人のグループホーム事業では、これまで最小単位2名のユニットを、えはらハイツⅢの他、東久留米第三氷川台寮(2008～2022)、ピア戸倉(2014～2018)を運営し、自立度の高い方で一人暮らしに近い生活を希望する方を対象に運営していました。しかし、結果的に各入居者は法人内外の夜間配置のあるグループホームに移り、3ユニットとも廃止としました。(お一人はサテライトで利用を継続。)

3つの小規模ユニットの運営を振り返ると、ご本人から、さらに地域の一人暮らしを目指すという意向は出てこず、むしろ生活する内に、ご家族も含め「やはり夜間配置がある方が安心」という方が多かったように思います。

新年度の障害福祉報酬改定の中で、グループホームから一人暮らしを希望する方等に向けた支援の充実が検討されています。現在、グループホームで

暮らす方たちの中に一人暮らしを望む方が一定数いる、それらの人たちをグループホームが抱え込んでいるのではないか、という国の調査結果によるものです。

しかし、当法人のグループホームの主たる入居者である知的障害のある方たちは、内容や量はさまざまではありますが、生涯にわたり何等かの支援を必要としています。グループホームを出て一人暮らしが実現した暁に、用意されている地域支援を考えた時、今はまだ十分とは言えません。

地域生活Ⅱグループホームではなく、障害のあるお一人おひとりにあった生活の形がある、それが実現できるような制度設計が求められています。私たち事業者は、そのことを国に求めながらも、今ある制度の中でどのような福祉サービスを組み立てれば、ご本人・ご家族が少しでも安心できるのか、日々、考えながら支援していかねければならないと思います。

福祉事業本部長 加藤留美子



2023（令和5）年度 上半期事業報告

※2023年9月末時点の報告書となります。

1. 総括

本年度の事業計画は、新型コロナウイルスの影響を想定して厳しい予算を立てながらも、ウィズ・コロナに向けて活動することとしています。2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻による影響は続いており、生活用品を含む様々な物資の高騰により、仕入れ材料なども値上がりして加工高確保にも影響が出ている状況です。

わが国も批准した国連障害者権利条約は、国連障害者権利委員会によるわが国の初回審査が昨年8月に実施され、会期末の9月には総括所見が公表されました。福祉施設等の分離政策に懸念が示され、人権モデルを基調としたインクルーシブ（包容）な社会環境へと変えていくことを勧告されています。2024年4月施行の「改正障害者総合支援法」（障害福祉サービス等報酬改定を含む）にも少なからず反映されている状況であり、障害者福祉施策は大きな転換期を迎えることになると受け止めています。

本年度は、中期事業計画（5カ年計画）を確実に進めるべく、毎月の常務会で課題整理して具体的に取り組んでいます。当面は、社会環境の変化や経済情勢の影響に対応しなければなりません。計画を達成するため、努力を続けます。

2. 上半期事業結果と年度方針の達成状況

本年度の事業方針の柱は、中期事業計画の推進、障害福祉サービス事業の充実、就労支援事業の維持・改善です。期中の実施状況は次のとおりとなりました。

(1) 経営の基本方針

- ・経営理念や倫理、社会的役割に伴うコンプライアンスやガバナンスを重んじた法人運営に継続して取り組んでいます。
- ・福祉サービスの質的向上のために、第三者サービス評価機関の審査を受審し、苦情解決制度の継続や広報誌やホームページ等による情報開示に取り組んでいます。

ます。

- ・法改正や業務改善などに伴う法人の規程等を必要に応じて見直ししています。
- ・活動の視野を広く持ち、国際交流などにもつながる事業を模索し、下半期に具体的に取り組めるよう準備を進めました。

(2) 財務・資金管理

- ・会計顧問の指導を受けながら、会計基準により精度の高い管理に努め、さらに外部会計監査人の指導を会計管理に反映させています。
- ・財務や資金管理について、法人本部が拠点間の窓口となつて調整に努めています。

(3) 事業の継続

- ・常に経営改善に視点を置き、持続可能な事業への体質改善を図っています。
- ・各拠点では適宜BCPの策定や見直しを実施しています。
- ・SDGsを言葉だけでなく、実際の団体等ともパートナーシップ

ブを結び、具体的な実施事業として対外的にも周知していく準備を進めています。

(4) 人材確保・育成

- ・継続的に求人広告をホームページや求人媒体に掲載し、人材確保に努めています。

- ・経営や福祉の専門性を向上することを目的とした教育、研修を計画し、オンライン等を活用して実施しています。継続して人材育成に取り組むとともに、人事考課制度を活用して上長との面談等をつうじて風通しの良い職場環境づくりに努め、一人ひとりの活躍の場の充実を目指しています。

- ・中堅従業員ならびに管理職を対象にハラスメント防止研修、中期事業計画の進捗報告など、下半期に実施する準備を始めました。

- ・6月の役員改選に伴い、新たな理事・監事を登用しました。所長級人事や管理職人事を含め、

世代交代を視野に人材確保や人材育成、引き継ぎ等に努力しているところだ。

(5) 他団体との協力連携

・障害者福祉の向上のために、各
省庁ならびに、東京都、各
市自治体、全国社会福祉協議会、
東京都社会福祉協議会、一般社
団法人ゼンコロ、特定非営利活
動法人日本障害者協議会、全国
社会就労センター、日本セルブ
センター、東京都セルフセンター
などにおいて積極的に役割を果
たしています。また、従業員等が、
対外的な立場において充分に役
割発揮ができるように、可能な
限り配慮し支援しています。

(6) 地域活動

・拠点ごとの地域活動においては、
各自自治体との連携を深め情報交
換を密にしながら、地域福祉の
向上ならびにニーズに応じた障
害者福祉の充実に努めています。
また、地域の福祉関連ネットワー
クには積極的に参画し、重要な
社会資源になり得ることを目指
しています。

3. 各事業本部の事業運営概要

現在の事業本部制は本年度をもつ
て廃止することを決定しました。規

程等の見直しや拠点のあり方などを
整理し、2024年4月から新体制
で運営できるよう準備に入っていま
す。各拠点においては、感染予防対
策を継続していますが、5月に新型
コロナウイルスが5類になったこと
で、少しずつではありますが通常運
営に戻りつつあります。

(1) 法人本部(事務局)

法人全体および法人内の各事業が
抱える諸課題への対応、事業運営に
おける改善などにおいて役割を果た
しています。懸案の事業本部制の見
直し、事務統合等各課題にそって具
体的な取り組みの検討に入りました。
必要に応じて規程を改定し、年間の
教育研修計画の立案や実施、法人全
体ならびに各拠点の事業運営に貢献
し、総務・事務部門の連携により確
かな情報提供・共有に努めています。
10月から開始されるインボイス制度
の対応について、会計顧問による説
明会を行うなど、関係者への周知と
必要な準備等を行いました。

(2) 福祉事業本部(グループホーム等、
トータル生活支援センター)

地域生活を支援する事業として、
グループホーム、短期入所、居宅介
護事業等、特定相談支援事業を運営
しています。コロナ禍の影響では、
短期入所や移動支援は利用が戻りつ

つある一方で、グループホーム入居
者、従業員共に陽性者や濃厚接触者
は多かったため、スタッフ配置も含
めた対応を行う場面も多くありまし
た。

(3) IT事業本部 トータル情報処理セ
ンター(事業部、職能開発室、デジ
タルメディアセンター)

昨年、コロニーもみじやま支援セ
ンター1階に移転した事業部と職能
開発室は、デジタルメディアセンタ
とともに、より柔軟に連携して運営
しています。法人内では、IT技術
等を介して各事業所に関わり、ネッ
トワーク委員会などをつうじて横断
的に役割を果たしています。事業部
では、コロナ禍の影響が続いており
受注状況は改善されておらず、期中
で利益を上げることは困難でありま
した。一方、障害者優先調達推進法
により新たに1自治体の業務を請け
負うことができ、空きの状態は改
善されました。デジタルメディアセ
ンターもまた、関連事業全体で厳し
さを増す状況であり、得意先ではIT
のランニングコストに係る予算削
減の動きも見られ今後も不安定な状
況となっています。職能開発室では、
重度障害者へのIT教育および在宅
就労の支援・啓発の事業、情報利活
用の底辺拡大のための事業を対面型

や体験型に戻っていますが、従業員
にも感染者が出ていることから、事
業やイベントごとに、あるいは個人
の状況を鑑みて、オンラインとオフ
ラインを使い分けている状況です。

(4) 社会就労事業本部(コロニー中野、
中野区仲町就労支援事業所、コロ
ニーもみじやま支援センター、コ
ロニー東村山、トータル青葉ワー
クセンター)

いずれの事業所も利用者の実利用
率はわずかに上がっています。コロ
ニー中野では、就労支援事業の飲食
事業は一定の改善がみられますが、
その他の事業は厳しい状況が続いて
います。コロニーもみじやま支援セ
ンターならびに仲町就労支援事業所
では、可能な限り日常に近い運営に
努めました。コロニー東村山の印刷
事業は厳しい受注状況が続いていま
すが、書籍等デジタル化事業では新
たな受注先の開拓につながっていま
す。福祉サービス事業では、利用者
の定員に届いておらず定員確保に課
題を残しています。トータル青葉ワー
クセンターでは、コロナ禍の影響で
中止していたプログラムを復活させ
ました。売上高は厳しい状況が続い
ていますが、価格等の見直しで加工
高は改善しています。放課後等デイ
サービス事業では管理者の欠員があ

りましたが、兼務で対応するなど体制の見直しを図りました。

(5)福祉工場事業本部(東京都葛飾福祉工場、東京都大田福祉工場)

東京都葛飾福祉工場もまた、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も引き続き感染予防に努めました。感染予防のため、かつしかフェスタは開催中止としましたが、感染予防対策を講じながら研修旅行と忘年会の開催の準備を進めました。就労事業活動は、コロナ禍以前の状況までには回復していません。立石工場のは回復していません。立石工場の建て替えは順調に進行しており、設備等の選定について準備を進めています。東京都大田福祉工場では、感染防止に留意しながらも通常運営へのシフトに努めてきましたが、7月には事業所内でクラスターが発生し15人の従業員が感染するという事態が発生し、大田区や大森保健所と連携して対応にあたりました。印刷事業は収益増に取り組み、売上高、加工高は3年連続増収となりました。身体拘束適正化、虐待防止、ハラスメント防止などの人権にかかわる課題について事業所として組織的に体制を維持し対応を継続しています。

表1 在籍者の推移

自2023(令和5)年4月1日 至2023(令和5)年9月30日

(単位:人)

	前年度末 在籍者数	期中増減				主な減員理由			上半期末 在籍者数
		増員		減員		自己都合	一般就労	疾病、その他	
雇用就労者	97 (85)	2 (1)	(0) (0)	4 (4)	(0) (0)	1 (1)	0 (0)	3 (3)	95 (82)
事業・施設の利用者	442	19	(0)	21	(0)	12	5	4	440
その他	93	6	(0)	9	(0)	1	0	8	90
障害がある在籍者 (計)	632 (85)	27 (1)	(0) (0)	34 (4)	(0) (0)	14 (1)	5 (0)	15 (3)	625 (82)
障害がない在籍者	289	34	(4)	20	(4)	9	0	7	303
合 計	921 (85)	61 (1)	(4) (0)	54 (4)	(4) (0)	23 (1)	5 (0)	22 (3)	928 (82)

- (注) 1) A型従業員については、障害がある雇用就労者に含めた上で下段の()で再掲している。
2) 増員および減員の各右欄には法人内異動を()で表記している。
3) 「その他」にはグループホーム利用者・在宅パソコン講習生・放課後等デイサービス利用者・定着支援利用者を含む。
4) 在籍者数には非常勤嘱託医を含まない。

表2 法人単位貸借対照表

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

2023年 9月30日現在

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	4,130,713,415	4,338,708,777	-207,995,362	流動負債	1,362,610,763	1,543,879,438	-181,268,675
現金預金	2,740,876,630	2,867,431,563	-126,554,933	短期運営資金借入金	300,000,000	300,000,000	
事業未収金	790,073,395	1,034,725,264	-244,651,869	事業未払金	552,051,009	911,077,257	-359,026,248
未収金	18,947,126	9,738,560	9,208,566	その他の未払金	18,467,907	21,901,436	-3,433,529
未収補助金	10,863,783	6,964,762	3,899,021	1年以内返済予定設備資金借入金	12,978,000	25,956,000	-12,978,000
受取手形	12,321,119		-27,541,154	1年以内返済予定リース債務	1,272,040	623,040	649,000
電子記録債権	45,837,458	51,533,837	-5,696,379	1年以内支払予定長期未払金	1,430,486	2,781,258	-1,350,772
貯蔵品	3,297,893	3,068,263	229,630	未払費用	56,609,037	58,693,549	-2,084,512
商品・製品	256,432,317	269,198,790	-12,766,473	預り金	22,669,497	13,416,496	9,253,001
仕掛品	29,689,695	17,304,597	12,385,098	職員預り金	24,106,588	9,554,023	14,552,565
原材料	17,952,200	18,902,827	-950,627	前受金	57,191,182	15,116,432	42,074,750
立替金	7,845,217	7,330,934	514,283	仮受金	615,818		615,818
前払金	404,250		404,250	賞与引当金	149,747,920	168,632,008	-18,884,088
前払費用	23,013,148	14,270,764	8,742,384	未払税金等	101,020	16,127,939	-16,026,919
前払費用(非資金)	1,156,275		1,156,275	仮受消費税	165,370,259		165,370,259
短期貸付金	740,771	740,771		固定負債	717,968,361	709,124,421	8,843,940
仮払金	35,995,403		35,995,403	設備資金借入金	314,978,000	314,978,000	
徴収不能引当金△	1,610,536	2,364,428	-753,892	長期運営資金借入金	30,000,000	30,000,000	
仮払消費税	136,877,271		136,877,271	リース債務	11,368,940	2,544,080	8,824,860
固定資産	5,111,021,645	5,202,831,538	-91,809,893	退職給付引当金	354,071,338	355,427,698	-1,356,360
基本財産	3,027,068,624	3,093,101,510	-66,032,886	役員退職慰労引当金	3,484,374	3,484,374	
土地	812,128,671	812,128,671		長期未払金	4,065,709	2,690,269	1,375,440
建物	3,659,254,752	3,659,254,752		負債の部合計	2,080,579,124	2,253,003,859	-172,424,735
建物減価償却累計額△	1,444,314,799	1,378,281,913	66,032,886	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	2,083,953,021	2,109,730,028	-25,777,007	基本金	300,915,620	300,915,620	
土地	298,950,200	298,950,200		基本金	300,915,620	300,915,620	
建物	781,141,764	768,641,582	12,500,182	国庫補助金等特別積立金	2,218,395,260	2,287,699,912	-69,304,652
構築物	151,777,081	151,777,081		国庫補助金等特別積立金	2,218,395,260	2,287,699,912	-69,304,652
機械及び装置	765,060,476	756,100,476	8,960,000	その他の積立金	797,694,823	827,694,823	-30,000,000
車輛運搬具	65,076,031	67,002,269	-1,926,238	その他の積立金	116,500,000	146,500,000	-30,000,000
器具及び備品	366,055,037	352,535,468	13,519,569	移行時特別積立金	681,194,823	681,194,823	
建設仮勘定	110,185,000	103,819,000	6,366,000	次期繰越活動増減差額	3,844,150,233	3,872,226,101	-28,075,868
建物減価償却累計額△	497,874,826	485,407,672	12,467,154	次期繰越活動増減差額	3,844,150,233	3,872,226,101	-28,075,868
構築物減価償却累計額△	84,863,136	80,767,062	4,096,074	(うち当期活動増減差額)	-58,075,868	50,853,688	-108,929,556
機械及び装置減価償却累計額△	670,970,625	673,028,140	-2,057,515				
車輛運搬具減価償却累計額△	63,010,018	64,409,923	-1,399,905				
器具及び備品減価償却累計額△	265,543,710	248,824,697	16,719,013				
権利	16,500	16,500					
ソフトウェア	29,826,073	35,667,787	-5,841,714				
退職給付引当資産	291,262,706	291,373,831	-111,125				
その他の積立資産	797,694,823	827,694,823	-30,000,000				
差入保証金	2,228,430	2,228,430					
長期前払費用	4,109,715	3,528,575	581,140				
その他の固定資産	3,460,840	3,468,840	-8,000				
徴収不能引当金△	629,340	637,340	-8,000				
資産の部合計	9,241,735,060	9,541,540,315	-299,805,255	純資産の部合計	7,161,155,936	7,288,536,456	-127,380,520
				負債及び純資産の部合計	9,241,735,060	9,541,540,315	-299,805,255

アートビリティ Artbility ギャラリー 51



『カルガモ夫婦の休日』

井手 俊郎 (いで としろう) さん

今回コロニーとうきょうの表紙を飾っております作品の作者、井手俊郎さんは、青色の表現がとても美しい方です。今回、表紙に『カルガモ夫婦の休日』を選びましたのは、特に美しい水面の表現を見ていただいたかったからにはかなりません。きらきらと輝く水面に映りこむ木々、その中を寄り添った2羽のカルガモが泳ぐ様は、ふと見落としてしまいそうな、なんてことはない日常の一コマなのに、なんだか特別な瞬間を垣間見てしまった、そんな気持ちになります。

彼の作品テーマは、外出時に見つけることが多いとお聞きしています。お出かけ先で、スマホで撮った写真をもとに描いているのだとか。

井手さんのほかの登録作品も、日常の一コマが大切に思える、そんな作品ばかりです。当事務局のホームページに掲載しておりますので、もしよろしければご覧ください。

【作家プロフィール】

1952年生まれ。埼玉県在住。

公務員となってもイラストレーターへの夢があきらめきれず、東京デザイナー学院グラフィックデザイン科に入学するも、中途退学。その後も、油絵を中心に創作活動に励む。

2005年 左半身不随となる。

再就職先で手にした社内報で、アートビリティを知り研鑽を重ねる。

2016年 アートビリティ登録作家となる。

■アートビリティ…障害者の所得支援を続けてきた社会福祉法人東京コロニーが、アートの分野で力を発揮する人材を後押しし、その才能を収入に結び付けるために始めた事業です。約200名の作家による6,400点以上の作品が揃ったアートライブラリーとなり、年間約400点の作品が使用されています。

ご寄附のお礼

(2023年7月～2023年12月 総額 9,120千円)

下記の皆様より、当法人に対してご寄附を賜りました。ご支援に対しまして心より感謝申し上げます。

2023年7月 諏訪 康雄 様

2023年7月 株式会社トライフ 様

2023年7月 緑川化成工業株式会社 様

2023年7月 三菱商事株式会社 様

2023年11月 小池 誠 様

2023年11月 全国本田労働組合連合会 様

2023年11月 伊藤忠エネクス株式会社 様

2023年11月 三菱HCキャピタル株式会社 様

2023年11月 株式会社東邦運輸 様

2023年12月 渡 秀二 様・渡 恵美子 様

2023年12月 沖電気工業(株) OKI 愛の募金事務局 様

◎文中の写真はご本人の了解を得て掲載しています。

ご協力の お願い	社会福祉法人東京コロニーでは、障害のある方の就労や教育、生活を支援するために数多くの事業を行っています。私どもの事業を応援して下さい方（あるいは団体）からのご協力を下記を窓口で常時受け付けております。いただきましたご寄附は、主に新しい事業の立ち上げや先進的な取組みを行うための財源に充当させていただきます。より多くの方へのより質の高いサービスをめざす当法人の事業に対し、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。（社会福祉法人への寄附は、税金が一部免除になります。） ご寄附受付 社会福祉法人東京コロニー 法人本部事務局 tel:03-3952-6166 fax:03-3952-6664 https://www.tocolo.or.jp/contact/
-------------	---

東京コロニーのホームページ



東京コロニー メインページ
<https://www.tocolo.or.jp/>



コロニー東村山
<https://www.colony.gr.jp/colonyhigashimurayama/>



コロニー印刷
<https://www.colony.gr.jp/>



デジタル メディアセンター
<https://www.tocolo.or.jp/dmc/>



アートビリティ
<https://www.artbility.com/index.html>



東京都大田福祉工場
<https://www.ootafukushikojo.org/>



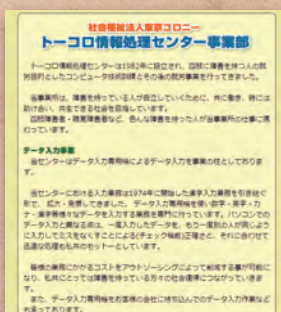
トーコロ情報処理センター職能開発室
<https://www.tocolo.or.jp/syokunou/>



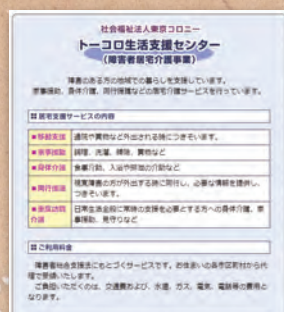
トーコロ青葉ワークセンター
<https://www.colony.gr.jp/aoba/>



東京都葛飾福祉工場
<https://www.fireman21.net/>



トーコロ情報処理センター事業部
<https://www.tocolo.or.jp/joho/>



トーコロ生活支援センター
<https://www.tocolo.or.jp/seikatu/index.html>



グループホーム
<https://www.tocolo.or.jp/grouphome/index.html>



中野区仲町就労支援事業所
<https://colony.gr.jp/nakatyoushienn/>



コロニーもみじやま支援センター
<https://colony.gr.jp/momijiyama/>



コロニー中野
<https://colony.gr.jp/colonymakano/>